

2025年10月7日

各 位

産官学金連携の地域資源活用による地域産業応援について

株式会社東和銀行（頭取 江原 洋）は、地域産業の活性化を目的に地域資源の各種 PR に産官学金で取り組んでおります。

本取組みの一環として、群馬県の特産品である「こんにゃく」の消費拡大に向け、2024年6月に群馬大学食健康科学教育研究センター（センター長 粕谷 健一）と有限会社浅間高原麦酒（代表取締役 黒岩 修）のマッチングにより「こんにゃくビール」を開発・販売しました。その後、2024年12月には、群馬県産麦芽大麦の使用比率を95.5%に高め、より群馬県産にこだわった商品としてリニューアル販売も実施しております。

今回につきましては、前回のエールビールとは違い、ラガー酵母を使用した最適な発酵温度（低温管理）や期間を研究することで、こんにゃくビールに適した繊細な下面発酵手法を確立し、よりクリアでスッキリとしたキレのある味わいが特徴である「ピルスナータイプのこんにゃくビール」を新しく開発し、販売することとなりました。

当行では、群馬県の特産品である“こんにゃく”の生産・販売の活性化に更なる消費拡大が必要であると捉え、群馬県や群馬大学などと連携して消費拡大の支援に取り組むことといたしました。群馬大学には2025年4月に新たな大学院として食健康科学研究科が開設され、食と健康に関わる研究や人材育成による一層の地域貢献が期待されます。地域資源を活かした新たな挑戦が、群馬県全体の発展に繋がることを期待しており、今後も地域に根ざした金融機関として、地域産業の発展に貢献してまいります。